

Ⅱ. リーディングプロジェクト

1. リーディングプロジェクトとは

リーディングプロジェクトとは、厳しい財政状況のなか、限られた財源を必要な施策に集中的に投下することにより、第4次八幡市総合計画におけるまちづくりの重点目標を明確にし、総合計画の成果を目に見える形で実現することをめざすものです。

2. 5つのリーディングプロジェクト

この基本計画では下記の5つをリーディングプロジェクトとしています。

(1) 市民協働推進プロジェクト

① めざす姿

■子どもから大人まで市民だれもが、学校や職場以外で、また世代を超えて、明日の八幡について仲間と語り合います。そして、行政とともに、これからも住み続けたいと思える「ふるさと八幡」に向けて、市民だれもがまちづくり活動や社会活動に参加し、交流の輪が広がっています。

② プロジェクトの背景とねらい

これからのまちづくりを進めていくためには、市民、NPO等、事業者等、行政が対等の立場に立って協働により取組を進めていくことが重要です。本市ではすでにNPO等や市民による自主的なまちづくり活動が行われていますが、その活動の拠点となる施設の整備が求められていました。そこで、学校再編整備に伴う跡地利用の一環として、既存施設を有効に活用して、市民参画、市民協働、市民活動の核となる拠点を形成します。

また、大規模な災害においては、公的対応だけでなく、市民一人ひとりの備えや地域コミュニティにおける助け合いの必要性が改めて認識されており、市民と一体となった防災対策向上などの取組が求められています。

③ 取組内容

- ・市民活動拠点の整備
- ・男女共同参画ルームの整備
- ・子育て支援センターの整備
- ・市民参画・協働を進めるための基本的な指針づくり
- ・市民協働による防災対策向上に向けた取組の充実



地域での防災訓練(美濃山地区)

(2) 放生川再生プロジェクト

① めざす姿

- 八幡市駅から安居橋までの石畳の道は、石清水八幡宮と放生川に囲まれ、訪れる人々にやすらぎを与えます。ここから松花堂庭園・美術館までの東高野街道は観光ルートとして、また市民の散策ルートとしてにぎわい、商店も活気にあふれています。
- 市民活動が契機となって清流を取り戻した放生川のほとりでは、観光客や市民が憩い、子どもたちも安心して水遊びができ、「環境自治体宣言のまち」のシンボルゾーンとなっています。

② プロジェクトの背景とねらい

放生川をはじめとする水辺環境や景観の整備は従来から市民の要望の多い事項でした。このプロジェクトが実現すれば子どもの水遊び場としても活用でき、市民のふれあいとやすらぎの場とすることができます。また、「石清水八幡宮→安居橋→東高野街道→松花堂庭園・美術館」とつづく観光ルートの形成にも寄与します。さらに、放生川では市民活動による河川清掃が行われており、このプロジェクトを通じて市民協働の先駆的な取組としていくことが可能です。このほか、八幡市駅の駅北整備との連動など、幅広い効果が期待できます。

③ 取組内容

- ・ 放生川の水の流れの確保とさまざまな形で水と親しむことのできる親水化の促進
- ・ 放生川及びその周辺地域の整備



放生川にかかる安居橋

(3) 住宅・住環境整備プロジェクト

① めざす姿

- 私たちの「ふるさと八幡」は、京都・大阪に隣接しながらも、先人たちの知恵と努力により多くの自然が残っています。この豊かな自然環境と共生しつつ、利便性の高い交通が確保された住宅地には、子どもからお年寄りまで幅広い世代の住民が快適な生活を送り、地域の商店もにぎわっています。
- 男山地域を中心とする集合住宅など個々の住居も、ユニバーサルデザインが進み、年齢やライフスタイルに応じ、安全・安心・快適な暮らしができるようになっています。

② プロジェクトの背景とねらい

本市はこれまで、京都・大阪という大都市に隣接しているという立地条件を活かして、住宅都市として発展してきました。男山団地は開発から約40年を経ており、快適な住宅・住環境を維持していくには、住宅の老朽化に対応していく必要があります。また、平成19年12月には都市再生機構から「UR賃貸住宅ストック再生・再編方針」が示され、男山団地は集約型再生とされました。そこで、ユニバーサルデザイン等の採用により高齢者等の福祉に対応した住宅・住環境の整備を進めるとともに、男山地域の再生に向け、関係機関への積極的な働きかけを行っていく必要があります。また、バスなど市内交通の利便性の向上、地域の商業の活性化等を視野に入れ、一体的な取組として進めます。

③ 取組内容

- ・ 八幡市住宅基本計画に基づく少子高齢化、ライフスタイルの変化等に対応した整備の推進
- ・ 都市再生機構（UR）による整備の促進
- ・ 市民との協働による住環境整備の推進



男山団地

(4) 組織間協働による人づくり・地域づくりプロジェクト

① めざす姿

■自分たちが通った、また子どもたちが通う学区は、地域コミュニティ活動を展開していくうえで基礎となる単位です。この学区を中心に、学校、地域、家庭、さらにはNPO、ボランティアが連携し、地域の特性を活かしながら、また定年退職者等の知識や経験を活かしながら、子どもたちの安全・安心を守り、高齢者や障がいのある人たちの生活を支援し、さらにはお祭りなど地域の伝統文化を守り育てる活動が活発に行われます。そして、行き交う人々が気軽にあいさつをし合えるような安心で明るい、活力ある地域が実現しています。

② プロジェクトの背景とねらい

お互いが信頼関係で結ばれ、ネットワークが形成された地域コミュニティは、そこに住む人々に安全や安心、生活の質の向上など豊かな生活をもたらしてくれます。

本市においては、学区を中心に地域特性を活かした自治組織活動が活発に展開されており、また、NPO等による活動も広がりを見せています。このプロジェクトにおいては、このようなコミュニティ活動をさらに活性化させ、各種団体相互の連携による事業効果の拡大を図り、組織間の協働により、防災防犯活動の展開など、より多様で厚みのある地域活動の推進を支援します。

また、団塊の世代など増加が予想される定年退職者等の社会参加を促進し、活

動の担い手として活躍できる環境を整備します。これらの活動を通じて、地域内の組織や個人がさまざまなネットワークを形成して協働による取組を進め、信頼関係で結ばれた安全・安心な地域づくりを進めます。

③ 取組内容

- ・ 地域コミュニティ活動の促進
- ・ NPO・ボランティア活動の促進
- ・ 自治組織団体、NPO、ボランティア、関係機関相互の連携強化及び交流の拡充
- ・ 公共施設の耐震化の推進
- ・ 自主防災組織の育成及び自主防犯活動の促進
- ・ 防災防犯情報の共有



耐震化の完了した学校施設(橋本小学校)



背割堤七夕まつりでの市内NPOによる竹細工教室

(5) 交流拠点整備プロジェクト

①めざす姿

■本市の多様な地域特性を活かしながら整備され、ネットワーク化された各地域では市内外の交流活動が活発化し、市民交流や観光が進むとともに、市全体としての一体感が生み出されています。

②プロジェクトの背景とねらい

豊かな自然と歴史・文化資源に恵まれた八幡地域・橋本地域、田園風景と工業団地が融和する東部地域、住宅地として多くの市民が生活を営む男山地域、竹林等の自然と調和しながら近代的な住宅が立ち並ぶ美濃山地域など、本市には多様な地域特性があります。これらの地域特性を活かした市域の均衡ある発展を図るためには、市民交流の促進と観光の振興をめざした交流拠点の整備が欠かせません。本プロジェクトでは三川合流部周辺、流れ橋周辺、八幡市駅周辺、橋本駅周辺、(仮称)八幡ジャンクション・インターチェンジ周辺等の整備事業といった関連事業と連携して、交流拠点の整備を進めます。

③ 取組内容

- ・ 広域集客交流拠点の整備促進
 - ・ 三川合流部周辺
 - ・ 男山周辺
 - ・ 松花堂周辺
 - ・ 流れ橋周辺
- ・ 生活交流拠点の整備推進
 - ・ 八幡市駅周辺
 - ・ 橋本駅周辺
 - ・ 男山の各地区センター周辺
 - ・ きんめい近隣公園周辺
- ・ 複合都市機能拠点の整備推進
 - ・ (仮称) 八幡ジャンクション・インターチェンジ周辺
- ・ 水と緑のネットワークの整備推進



平成28年頃の(仮称)八幡ジャンクション・インターチェンジ周辺
イメージ(新名神高速道路暫定供用時点)